

「食の拠点」とかち強化プロジェクト

十勝連携地域

【概要・目的】

生産基盤の強化による食料生産・供給拠点の形成や担い手の育成・確保などを図り、我が国における食料供給地域としての地位をさらに揺るぎないものにするとともに、こうした十勝の優位性を活かし、農商工連携等による十勝産食材の付加価値向上や海外輸出も含めた販路の拡大を進め、強いブランド力をもった食産業を構築していきます。

【施策展開】

これまでの主な取組実績

■「食の総合産業化」の推進による地域産業の振興

- 管内に招聘した首都圏等のバイヤー等による個別相談・商談会・生産現場訪問の実施
- 首都圏等のイベント出展や調理師専門学校における十勝産食材のPR
- 十勝産牛肉の海外展開やブランド力向上に向けた各種調査等の実施
- 十勝産水産物のブランド化推進に向けた関係者連携による各種即売会やフェアの開催
- 「北海道6次産業化スタートアップ事業」等による新商品開発や販路拡大の促進

今年度の主な取組（平成28年度）

■安定的な食料の生産・供給拠点の形成

- 農業の担い手の経営体質強化のため、研修会の開催など地域農業と民間企業との連携、専門家派遣等による人材育成
- 農業高校と連携した農業高校生の就農促進など

■豊富な農水産物等を活かしたブランド力のある商品の開発や海外を視野に入れた販路拡大

- 十勝産品のブランド化に必要な商品デザインを磨き上げるためのセミナーや相談会を開催
- 道内外の飲食店やホテル等における十勝産品のブランディングやマーケティング調査実施
- 十勝産原材料を活用した食品である十勝ブランド認証品の適正・公平性の確保を推進
- 「6次産業化」や「海外販路拡大」をテーマとした検討会議の開催
- 管内の関係機関が相互に連携した「とかち6次産業化検討部会」等による取組の展開

今後の取組を進める上での主な課題

○【課題】

- 生産者、関係団体等が一体となった十勝ブランドの確立に向けた継続した取組が必要
- 十勝産食材の首都圏等での知名度向上や域外の消費者需要に併せた商品づくり
- とかち食推進会議本体についての効果的・効率的な運用方法の検討
- 輸出関係者間の情報共有や連携の強化等、輸出拡大に向けたオール十勝による取組の推進

【KPIの状況】

	H26(基準)	H27	H28	H29	H30	H31(目標)
地域の認証・登録制度の認証・登録品目数	179品目 (H27)	179品目 <進捗率> 90%	174品目 <進捗率> 87%			200品目 (H32)
食品工業の付加価値額	876億円 (H26)					944億円 (H32)

「食の拠点」とかち強化プロジェクト

十勝連携地域

【施策展開】

次年度の取組(平成29年度)

■ 安定的な食料の生産・供給拠点の形成

- ・農業生産の高品質・高付加価値化や低コスト化の推進及び自給飼料生産拡大、循環型社会の構築のために必要な施設整備等を支援
- ・本道農業の担い手の経営体質強化を図るため、研修会の開催など地域農業と民間企業との連携や専門家派遣による人材育成の取組を実施
- ・国際競争力の強化を図るため、地域の営農戦略に基づく産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援
- ・畜産経営の収益力の向上や飼料生産組織の経営高度化、畜産環境問題への対応など、畜産クラスタ計画に基づく地域の中心的な経営体等が行う施設の整備等を支援
- ・クリーン農業の一層の普及拡大に向けた「選ばれるクリーン農産物ブランディング事業」(事業主体:道、道クリーン農業推進協議会)と連携した、消費者理解の促進(イベント時における行政PRコーナーの設置)
- ・「北海道有機農業推進計画(第3期)」(H29～)を踏まえた取組推進、イベント時における行政PRコーナーの設置
- ・環境保全型農業の取組を実践する農業者が組織する団体等に対する支援
- ・農業高校と連携した出前授業や農大との連携事業による農業高校生の就農促進
- ・農業研修生受入や指導に係る各種研修会等の開催による指導農業者・農業士の資質の向上と活動の活性化
- ・農業青年の情報交流会(青年アグリフォーラム in 十勝)の開催
- ・新規就農者を対象に農業技術を学ぶ農村ゼミナール等の開催
- ・畜産クラスター事業の効果的な計画の実施に係る助言・指導等

■ 豊富な農水産物等を活かしたブランド力のある商品の開発や海外を視野に入れた販路拡大

- ・十勝産品の知名度向上やブランド化の推進を目的に業界団体等と連携してフェア等を開催
- ・十勝ブランド認証機構による十勝産原材料を活用した食品である十勝ブランド認証品の適正の確保、公平性を保つため「十勝ブランド事業支援委員会」へオブザーバー参加
- ・外国人向け商品の開発・改良等のため海外市場でテスト販売を実施し海外ニーズを把握
- ・海外ニーズ等に関するセミナーの実施
- ・これまで十勝で開催していた「十勝イタリアノマンジャーレ」について、首都圏での開催を予定しており、企画・運営のサポートを実施
- ・首都圏において包括連携協定締結企業と連携し、イベント等への出展を通して十勝の食や観光を広くPR
- ・十勝ならではの食資源を調査・収集し、情報を発信
- ・大学や専門学校等を対象とした食に関する研修旅行の誘致
- ・農業者等からの相談に対し、道が委託をしている6次産業化サポートセンターと連携して対応
- ・HPの掲載情報の充実などにより、6次産業化、輸出に関連する情報の周知を図る
- ・十勝産の牛肉や関連する農畜産物の海外展開やブランド力向上に向けて、管内の関係機関が相互に連携した「とかち6次産業化検討部会」等による競争相手との差別化の取組を展開、また関連情報について関係機関・団体等と情報共有
- ・「食と農の景勝地」十勝協議会と連携したインパウンド受入対応を図る
- ・「とかち食推進会議」に代えて「とかち海外展開関係機関連絡会議」を設置し、管内市町村及び関係団体と海外展開に関する施策の情報共有や共通課題の解決を図る

「ひがし北海道」広域観光プロジェクト

十勝・オホーツク・
釧路・根室連携地域

【概要・目的】

北海道新幹線の開業や北海道横断自動車道(道東道)の更なる延伸、外国人観光客の増加や旅行形態の多様化といった様々な時代の流れを的確に捉え、道東の優れた自然環境をはじめとする多彩な観光資源、広大な畑作酪農地帯や豊富な漁業資源など各地域個々の魅力を一層向上させるとともに、道東4地域間連携による相乗効果を高め、道東地域全体への誘客促進を図っていきます。

【施策展開】

これまでの主な取組実績

- 「食の総合産業化」の推進による地域産業の振興
 - ・ 道外観光客誘客を目的とした首都圏他大都市圏での食観光プロモーションを実施

今年度の主な取組(平成28年度)

- 「ひがし北海道」の一体的な観光ブランドづくりによる誘客促進
 - ・ 道外観光客誘客を目的とした首都圏他大都市圏での食観光プロモーションの実施
 - ・ ひがし北海道の魅力ある周遊ルートの検討
 - ・ 道東自動車道サービスエリアにおいて、道央圏等からひがし北海道への誘客促進プロモーションの実施
 - ・ 新幹線開業後の函館市内において、観光客や住民に向けた誘客促進プロモーションの実施
- 交通ネットワークを利用した地域間連携の強化
 - ・ 観光部門と連携した道東自動車道の利用促進プロモーションの実施
 - ・ 観光列車運行可能性調査の実施
 - ・ ひがし北海道5空港(帯広・釧路・中標津・女満別・紋別)連携による国及び航空会社に対する要望活動の実施

今後の取組を進める上での主な課題

- 【課題】
 - ・ 十勝の知名度アップと誘客促進のため、地域が一体となった取組が必要
 - ・ ひがし北海道の多様な観光資源の効果的なPR
 - ・ 案内表示等の基盤整備や外国人観光客へ向けた多言語化

【KPIの状況】

	H26(基準)	H27	H28	H29	H30	H31(目標)
道東地域への観光入込客数	2,620万人 (H25)	2,826万人 <進捗率> 96%				2,983万人 (H32)

「ひがし北海道」広域観光プロジェクト

十勝・オホーツク・
釧路・根室連携地域

【施策展開】

次年度の取組(平成29年度)

■「ひがし北海道」の一体的な観光ブランドづくりによる誘客促進

- ・道東4振興局連携推進検討会を開催
- ・道東地域への誘客促進のため、道東4振興局が連携し、北海道新幹線開業後の東北地方(仙台等)において合同観光プロモーションを実施
- ・国内の富裕層に向けた長期体験旅行ツアーを実施、十勝の新しい滞在型観光のモデルを構築
- ・観光客を対象とした十勝観光のSNS情報発信キャンペーンの実施
- ・地域の関係団体・機関と連携し、道外・海外において誘客促進の観光プロモーションを実施
- ・大学や専門学校等を対象とした食に関する研修旅行の誘致
- ・広域周遊ルート形成促進事業における地域事務局として連携調整を実施

■交通ネットワークを利用した地域間連携の強化

- ・JRから路線バスへの円滑な利用促進へ向けた取組(情報提供・案内方法の検討)の実施
- ・地方空港路線維持確保プロモーション、各航空会社に対する要請活動、国(国土交通省)への要請
- ・道東道利用促進のため、サービスエリアでの情報発信を実施
- ・観光部門と連携したひがし北海道への誘客促進のためプロモーションを実施

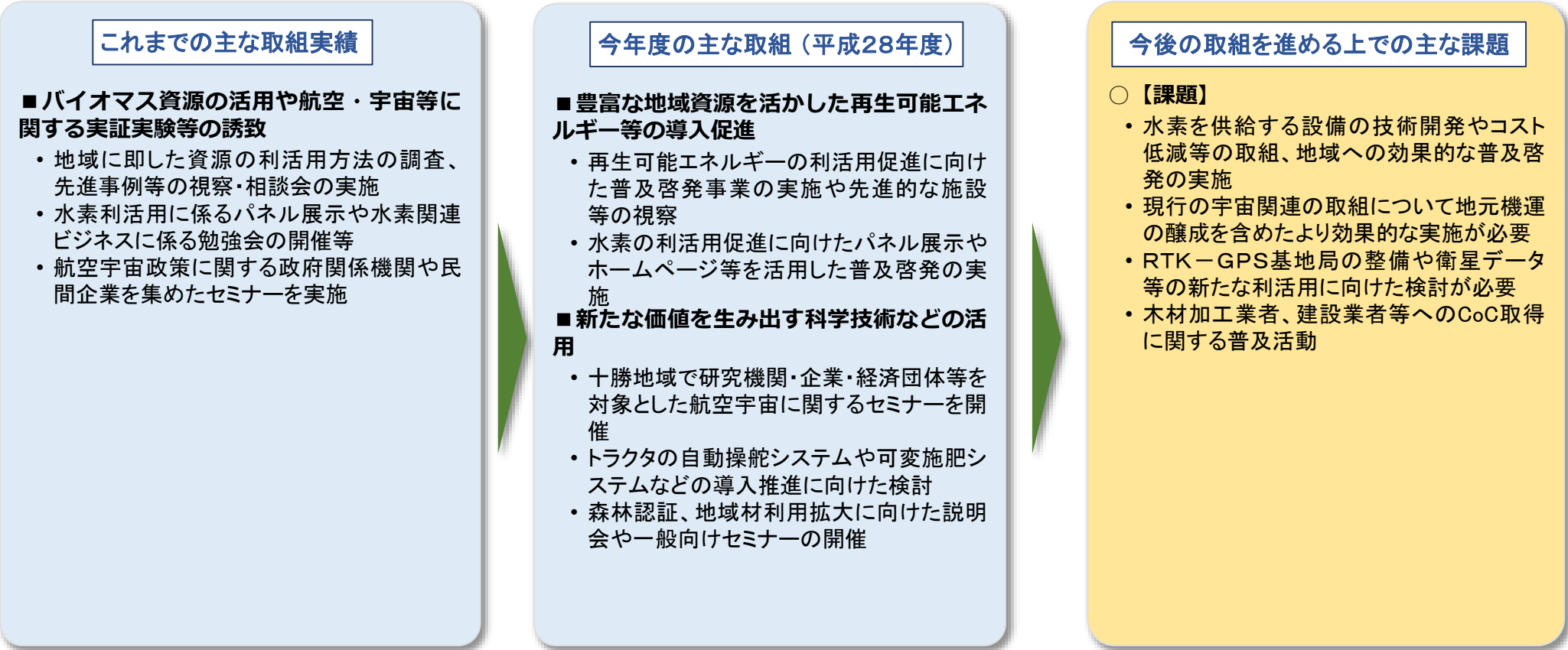
「次世代先進産業」とかちチャレンジプロジェクト

十勝連携地域

【概要・目的】

道内有数の賦存量を誇るバイオマス資源を活かした再生可能エネルギー等の利活用による新たな産業の創出や農業・農村の活性化、今後成長が期待される航空宇宙関連分野や大規模経営が展開されている十勝の農業におけるICT化の取組など、こうした十勝の優位性を活かした先進的な取組を一層促進することにより次世代に向けて先駆的で魅力ある地域づくりを進めます。

【施策展開】



【KPIの状況】

	H26(基準)	H27	H28	H29	H30	H31(目標)
新エネルギーの導入状況(原油換算)	160ML (H26)					176ML (H32)
先進技術関連事業所立地数	13件 (H26)	13件 <進捗率> 76%				17件 (H32)

「次世代先進産業」とかちチャレンジプロジェクト

十勝連携地域

【施策展開】

次年度の取組(平成29年度)

■豊富な地域資源を活かした再生可能エネルギー等の導入促進

- ・再生可能エネルギーの利活用促進に向けた環境学習体験等による普及啓発事業を実施するとともに、先進的な再生可能エネルギー施設等の視察を実施
- ・太陽光発電パネル施工技術者を養成する太陽光発電協会の認証研修機関として、道内で初めて登録された帯広技術専門学院を管内に広くPR、新エネルギーを担う人材・事業体の育成を推進
- ・水素の利活用に関する理解を促進するため、パネル展示やホームページ等を活用した普及啓発を実施
- ・鹿追町水素エネルギー研究会に参画し、水素の利活用に関する検討を実施

■新たな価値を生み出す科学技術などの活用

- ・管内の理系高校生等を対象としたセミナーを開催
- ・関連産業立地の波及効果理解促進セミナーを開催
- ・航空宇宙に関する相談内容別の支援策等を整理
- ・トラクタの自動操舵システムや可変施肥システムなど、地域への導入に対応する取組を推進するため、関係機関・団体による導入推進に向けた検討を支援
- ・木材加工業者、建築業者等へ森林認証(CoC)を普及するための勉強会を実施
- ・製材・乾燥・プレカット加工施設等の整備に対する支援
- ・地域材の普及及びPR活動

「多様な人材の活用」とかち支援プロジェクト

十勝連携地域

【概要・目的】

女性の就業率の高さなど十勝の地域特性を踏まえた女性の社会進出や起業化への支援、また、50代から60代のシニア層の転入が石狩地域に代表される都市部に比べ少ないという地域の特徴を捉え、アクティブシニアと言われる健康で活動的なシニア層をターゲットにした移住・交流の促進により、若い世代はもとより地域の産業・社会を支える女性やシニア世代を含めた幅広い層の人材を育成・確保するための取組を進めます。

【施策展開】

これまでの主な取組実績

- **多様な人材の活躍による地域活性化**
 - ・ 十勝管内の事業所における女性の登用や活躍促進の取組状況に関する調査等の実施
 - ・ 農業や水産業において地域で活躍する女性をホームページで紹介
 - ・ 農業や農産物に興味を持つ女性を対象とした魅力発見セミナーを開催
 - ・ 地域における延長保育や預かり保育など、多様な子育て支援サービスの提供体制の整備
 - ・ 「十勝管内移住・定住推進連絡会議」の設置による移住定住に向けた体制整備(2回開催)

今年度の主な取組（平成28年度）

- **女性のキャリアアップや社会進出の促進に向けた取組**
 - ・ 企業・団体等でキャリアアップを目指す女性に向けたワークショップの開催
 - ・ 女性ロールモデルの情報発信や女性の活躍に係る総合的なポータルサイトを構築
 - ・ 女性による新たなビジネスモデルの検討を支援するための研究会を開催
 - ・ 地域における子ども子育て支援
- **アクティブシニアをターゲットにした移住・交流の推進**
 - ・ アクティブシニアに対する学びのニーズ調査やメニューに関する調査を実施
 - ・ 「十勝アクティブシニア移住交流促進部会」の設置、運営
 - ・ 十勝管内で実施されている「学びのメニュー」についてWebサイトを制作し、効果的な情報発信を実施

今後の取組を進める上での主な課題

- **【課題】**
 - ・ 企業側の女性活躍促進に対する理解の促進
 - ・ 管内の女性団体の把握方法や各業種ごとに地域で活躍する女性の把握
 - ・ 農村への定着や農業等への就業促進等について、より具体的な取組の検討が必要
 - ・ 子ども・子育て支援の着実な推進
 - ・ 管内市町村、関係団体、民間事業者等との連携・協力

【KPIの状況】

	H26(基準)	H27	H28	H29	H30	H31(目標)
女性キャリアデザインロールモデル輩出数(累計)	160ML(H26)	8件 <進捗率> 16%				50件(H31)
ちょっと暮らし滞在日数	7,787日(H26)	7,681日 <進捗率> 86%				8,955日(H32)

「多様な人材の活用」とかち支援プロジェクト

十勝連携地域

【施策展開】

次年度の取組(平成29年度)

■女性のキャリアアップや社会進出の促進に向けた取組

- ・女性活躍促進のための取組(ポジティブ・アクション)に積極的に取り組んでいる管内企業や管内で活躍している女性を取材し、先進事例として情報発信
- ・女性が個人事業として小規模な起業や開業を行う新たなビジネスモデルを支援するためのワークショップを開催
- ・ワークショップに参加した女性について、ロールモデルとして活躍事例を情報発信
- ・広く女性の活躍に関する団体や個人などの情報発信や交流促進の場を設定するため、女性の活躍に係る総合的なポータルサイトの内容の充実を図る
- ・農村女性が活躍できる環境づくりのため、課題解決に向けた意見交換会等を開催
- ・農村女性グループ活動の活性・拡大化のため、異業種を含む女性グループ活動の研修会等を開催
- ・子どもが健やかに成長するように支援するため、市町村が支弁する施設型給付費等の支給に要する費用の一部を負担
- ・子ども・子育て支援の着実な推進を図るため、市町村が策定する市町村子ども・子育て支援事業計画に基づく措置のうち、地域子ども・子育て支援事業(13事業)に要する経費を補助

■アクティブシニアをターゲットにした移住・交流の推進

- ・関係機関と連携し、引き続きニーズを把握
- ・平成28年7月に設置した「十勝アクティブシニア移住交流促進部会」を開催し、各自の取組状況や管内共通の課題・現状等について情報共有を図るとともに、有識者を招き新規の体験メニュー案について検討・開発、「学びを担う人材の育成・確保」について事業の方向性、内容を検討
- ・「十勝アクティブシニア移住交流促進部会」において検討・開発された新規の体験メニュー案をもとに、関係事業者等のノウハウを活用し、メニューを試作
- ・平成28年度の調査により情報収集した「学びや体験メニュー」についてPR動画を作成
- ・旅行会社のネットワークを活用し、シニア層に対して十勝地域や「学びや体験メニュー」を効果的にPR